

ティーネのいいね！ドイツ

沼田市国際交流員が教えるドイツ

ゲームに熱心なドイツ人

ヨーロッパでは、「ドイツ人はすぐにムキになる」とよく言われます。私自身もその通りだと思います。どんなときにムキになるのかというと、勉強でもなく、仕事でもなく、Spieleabend（シュピーレアーベント）のときです。Spieleabendとは、夜集まってゲームをすることです。みんなは、「負けたくない！」という意気込みでゲームをするので、盛り上がってくると勝ち負けにこだわります。ルールをきちんと守ったうえで、手加減はしません。もしも、ルール違反にはならない程度のずるいことをされたら、仕方がないのでぐっと我慢します。ドイツ人は、普段の生活ではあまり意地悪を言わないし、自分より相手を優先しますが、ゲームのときには遠慮することはありません。意地悪な冗談を言ったり、素直に自分の感情を出したりできるので、思い切りはしゃぎます。

例えば、ゲームの最中に飲み物を取りに行こうものなら「ちょっとどこに行くの！順番が来ちゃうよ！」と冗談半分に引き留められます。ドイツで人気があるゲームは、タブーゲームです。カードを1枚引くと、そのカードには、みんなに言い当てて欲しい言葉と、そのヒントに使ってはいけない5つの言葉が書いてあります。例えば、当てて欲しい言葉が「手」で、ヒントに使ってはいけない言葉が「指」「親指」「手袋」「腕」「手のひら」です。早く言い当てた人の勝ちなので、みんなはヒントを楽しみに待っています。待たれていると、ヒントを出す側は焦ってしまうので、余計に頭を



12才のティーネ、おばあちゃん家で家族とゲームに夢中



Kniffel（クニッフェル）というサイコロゲーム

使います。お爺ちゃんと家族でよくクニッフェルというサイコロを使って特別な組み合わせを作るゲームをしました。例えば、4の目が3つと3の目が2つ揃うとフルハウスになって25点がもらえます。13回ずつサイコロを振ることができて、合計得点の一番高い人が勝ちです。確率の他に、運に左右されるので、小学生でも大人と一緒に遊べると思います。

ドイツではボード・ゲームも大人気で、約50%のドイツ人が少なくとも毎月1回、ボード・ゲームやカード・ゲームなどで遊んでるという調査結果もあります。

Heute ist Spieleabend
(今晚はゲームの夜です)



作者：クリスティーネ・バウアー（ティーネ）
問い合わせ：c.bauer@city.numata.gunma.jp

👩🍳 クックパッド：沼田市のキッチン